

冬の花火がバン、バン、バーン

子どもも大人も大喜び……☆キラキラ大作戦☆

ふるさと吉川を輝かせるにはどうしたらいいか。21日の夜、原之町の元役場庁舎跡地で行われたクリスマス☆キラキラ大作戦に参加してみました。「うーん、やるねえ」とすっかり感心してしまいました。ツリーを飾る。孟宗竹を利用して蝋燭の灯をともし。食べ物や飲み物を売る屋台を出す。そうした会場に子どもたちを集めて〇×ゲーム、ビンゴゲーム、クイズなど楽しさいっぱいの遊びを用意する。そして最後は冬の花火です。たくさんの明かりが輝き、参加者の目も輝いていました。



クリスマス・キラキラ大作戦は今年で4回目となります。実行委員会のみなさんが、子どもたち

に楽しんでもらい、少しでも吉川区を元気づけようと、計画・準備をしてくださいました。本当は少し雪があると高まったのでしようが、この夜は生憎の小雨となりました。でも、参加者はクイズやゲームで湧きまし

た。花火の時は、それはもう最高に盛り上がりました。自然と拍手が起こり、「おー」「最高！」という歓声が上がりました。（私のホームページの日記「ホーセの見てある記」では音声も楽しめます）私はこの作戦には初参加です。まず屋台でワンドリンクを買って、うどんを食べ、ゲームを観戦しました。実行委員会のメンバーはほとんど夏の越後よしかわやつたれ祭りの時と同じです。子どもたちと楽しくゲームをやるのがじつにうまい！。この夜はお酒を少しいただきながら、メンバーの皆さんとこのイベントのことやまちづくりについて語り合いました。

夢を語った感動のコンサート

23日は恒例の「ほっとホットコンサート」でした。吉川コミュニティプラザ3階の多目的ホールを満席にした観客がクリスマスを前に音楽を楽しみました。

コンサートは吉川中学校の吹奏楽部の金管6重奏から始まりました。同部はこの夏、吹奏楽コンクール新潟県大会で金賞をとったばかり。今回は吹奏楽部の1、2年生がドヴォルザークの「4つの合唱曲」などを聴かせてくれました。演奏したのは9人。司会者に「夢は？」ときかれて、「音楽コンクールで金賞をとりたい」「保育士になりたい」「公務員になりたいです」。みんな、すぐに頭に浮かぶ夢を持っているんですね。

柿崎区でこの春に結成したばかりというフオークトリオ、『あぜ道』のみなさんの



歌は初めて聴きました。滝澤ちず子さんの「涙そうそう」、平田優一さんの「吾亦紅（われもこう）」、中高年の気持ちにぴったりの歌です。すっかりとした歌声につられて一緒に歌い出しそうになる、そんな雰囲気がありました。司会者に将来の夢はときかれて「紅白歌合戦出場です」という答えに大きな拍手が送られました。

山岸協慈さんのギター、関澤章子さんのフルートはこれまで何度も聴いてきました。二人とも急速に人気上昇中。吉川区の誇る演奏者です。この夜は関澤さんの「EARTH」にすっかり魅せられました。目をつむると、宇宙に浮かぶ地球がイメージできました。

最後はチェコから前日帰ったばかりのピアニスト、市村幸恵さんです。ショパンの「別れの曲」、ベートーベンの「月光第3楽章」を力強く弾いてくれました。チェコに行つて10年になったそうですが、帰省する度に、地元で演奏してくれるのはうれしい。大拍手です。

コンサートの主催は吉川区の「夢をかなえる会」です。演奏者がそれぞれ自分の言葉で夢を語る場面は時々笑いもあって、とても良かったです。



写真は、吉川中学校吹奏楽部と市村幸恵さんの演奏風景。23日撮影。